



平成29年11月13日

各 位

会社名 日本金銭機械株式会社
代表者 代表取締役社長 上 東 洋次郎
(コード番号：6418 東証1部)
問い合わせ先 取締役上席執行役員
経営企画本部長 高 垣 豪
電 話 (06) 6703-8400 (代表)

特別利益・特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成30年3月期(通期)連結業績予想値の修正(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	31,800	1,550	1,550	1,050	35円42銭
今回修正予想(B)	30,000	1,150	1,200	1,480	51円76銭
増減額(B)－(A)	△1,800	△400	△350	430	—
増減率(%)	△5.7	△25.8	△22.6	41.0	—
(ご参考)前期実績	30,230	1,752	1,533	1,012	37円71銭

2. 業績予想の修正の理由

米国子会社が提訴していた損害賠償請求訴訟について、和解の合意が成立したことに伴い、和解金相当額約22億50百万円を特別利益に、また、訴訟関連費用約4億50百万円を特別損失に計上する見通しであります。なお、本件訴訟につきましては、和解合意書に定める守秘義務に基づき、相手方の社名を含め、詳細の公表は控えさせていただきます。

また、連結子会社であるJCMシステムズ株式会社にて展開するアミューズメント事業(ゲームセンターの運営)の廃止を決定し、固定資産除売却損失等約3億30百万円を特別損失に計上する見通しであります。

上記に関連する会計処理及び税務処理については、未確定な部分もありますので、予想値の変動が見込まれる場合には、改めて適時適切に開示してまいります。

以上のほか、国内の遊技場向機器事業の市場環境が期初の想定以上に厳しく、同事業の減収が見込まれることから、売上高、営業利益、経常利益は、前回予想値を下回る見通しとなりましたので、通期の業績予想値を修正いたします。

なお、期末配当金につきましては、期初公表値から変更の予定はありません。

以 上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。